

1. 大阪の成長の方向性

(1) 大阪のめざすべき姿

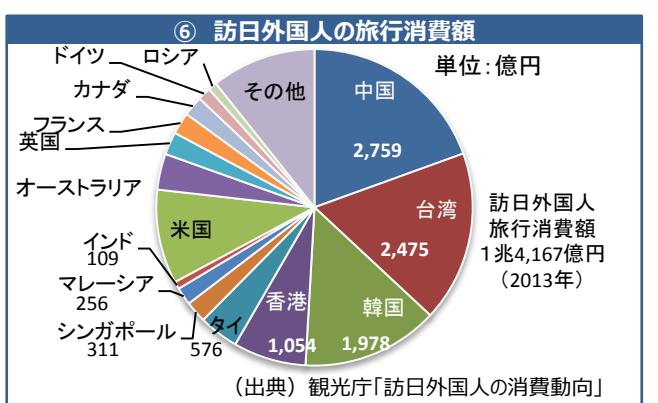
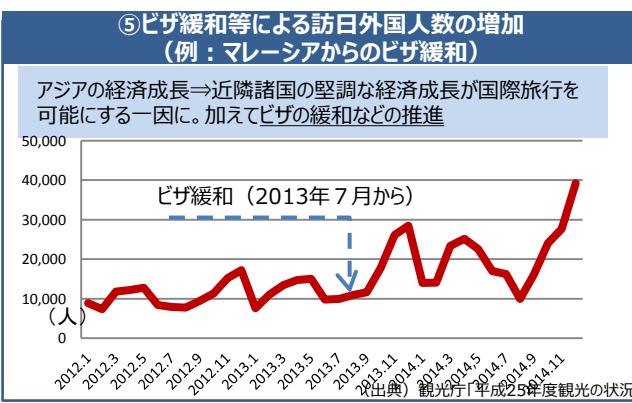
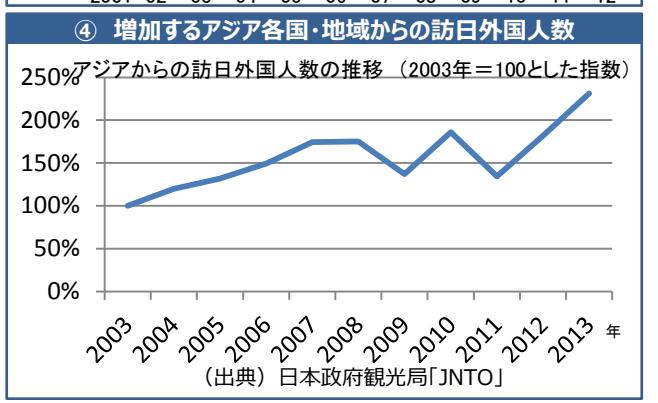
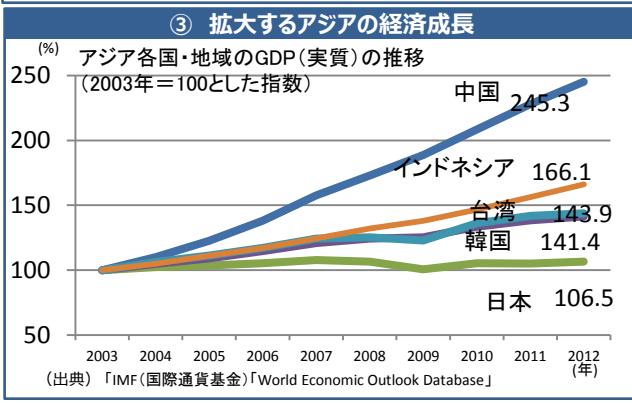
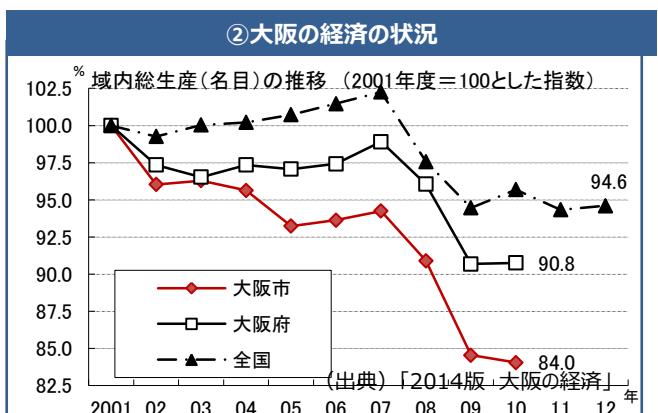
- ◆大阪の成長にむけ、総合特区・国家戦略特区の指定、民間都市開発の活性化などの進展に取り組んできたが、確かな成長軌道に乗るには、一層の取組強化が必要
- ◆2020年に大阪・関西がめざす将来像「日本の成長をけん引する東西二極の一極として世界で存在感を発揮する都市」の実現のためには、経済成長の源泉に着目し大阪・関西の「強み」を磨き、つなげ、発信していくことが重要
- ◆大阪の都市魅力を創造するため、世界があこがれる都市を創造し、世界中から人、モノ、投資を呼び込む

(2) 成長への取組みの方向性

1) 大阪を取り巻く環境

- ◆人口減少社会の到来
- ◆長期にわたる経済の低迷
- ◆アジアの各国・地域の経済成長、訪日ツーリズム人口の拡大

将来的な人口減少に伴う国内需要や低迷する経済の状況を踏まえ、アジアの成長を取り込む



2) 大阪のポテンシャル

- ◆関西に集積する豊富な観光資源 (世界遺産等の観光資源、大阪都心部の水辺にぎわい等)の中心に位置する
- ◆厚みのある産業集積、大学・研究機関の集積 (環境・エネルギー、医療・ライフサイエンス等)
- ◆充実した交通インフラ (鉄道・高速ネットワーク・関西国際空港・国際戦略港湾等)

- 歴史・文化遺産の集積の中心に位置する
大阪、奈良、京都、和歌山、兵庫、滋賀など
多様な文化の創造・継承・蓄積
※世界遺産が関西に集積。



- 大阪都心部の水辺のにぎわい
中之島エリア、八軒家エリア、東横堀川・道頓堀エリアなど

- 環境・エネルギー産業等の機能集積
大学・研究機関の集積
彩都など特色ある研究開発拠点、バイオ・ライフサイエンス・環境エネルギー産業等多様な次世代産業の集積



- アジアとの経済・人の交流
大阪港の外貿貨物量
…アジアの割合：約93%(2013年)
関西国際空港
…アジア路線発着国際便 約82%(2013年)
LCC拠点化

- 交通インフラの充実
鉄道・高速道路ネットワーク、関西国際空港、国際戦略港湾 (阪神港)

大阪を取り巻く環境・ポテンシャルを踏まえて

3) 新たな取組の方向性

- 国内外からの人・モノ・投資を呼び込み、大阪経済成長の起爆剤となる施策に取り組む
- アジア各国・地域の経済成長・海外からのツーリズムブームの機を逃がさず、新たな観光資源の開発・創造と、大阪・関西の世界的観光資源とのネットワークによる結節点(ハブ)の構築を図る
- 厚みのある産業集積などの大阪のもつポテンシャルを高めるため、関連産業の人・モノの交流の機会を創出する
- 国内外の人・モノの往来の更なる活性化に向けて交通インフラや物流機能の一層の機能強化を図る

国内のみならず海外からの人・モノ・投資を呼び込む
民間の発想・活力による、新たな観光拠点の形成

★圧倒的な魅力ある集客効果の高い拠点 ★大阪・関西の各地域とのネットワーク形成に資する拠点